

信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2023年度上期調査)

定例調査

中小企業金融の動向を把握し、信用補完制度の円滑な運営に資するため、以下の各項目について調査を実施

【中小企業向け貸出】

○中小企業向け貸出D.I.は、1.8とやや上昇し、5期ぶりにプラス。
次期見込みは2.2と横ばい。

【信用保証付貸出】

○信用保証付貸出D.I.は、0.6と上昇し、5期ぶりにプラス。
次期見込みは1.4と横ばい。

【信用保証付貸出における条件変更】

○条件変更D.I.は、24.7とやや上昇し、7期連続でプラス。
次期見込みは24.7と横ばい。

【金融機関から信用保証協会への代位弁済請求】

○代位弁済D.I.は、26.1とやや上昇し、8期連続でプラス。
次期見込みは24.3とやや低下。

特別調査

金融機関による融資取引先への本業支援に関する取組みについて調査を実施

【本業支援先の選定、支援内容、外部専門家の活用等】

○本業支援先を「営業店の判断により現場で選定」している比重が「本部が支援先をスクリーニングして選定」する比重よりも高く、57.9%となっている。

○注力している本業支援先の属性については、「コロナ禍や物価高等、昨今の経済環境変化の影響を受けた先」が最多(75.0%)。

○注力している支援内容については、メイン先、信用保証付貸出先のいずれも「諸制度(制度融資、補助金等)の情報提供」が最多(8割超)。

○外部専門家の活用分野については、「補助金、給付金等の申請支援」が最多(55.6%)。

○本業支援先からのニーズへの対応状況をメイン先と信用保証付貸出先で比べると、メイン先の方がニーズに対応できている割合が高い(82.9%)。

<お問い合わせ先>

株式会社日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険情報室 保険分析グループ (担当: 城所、今泉、櫛木、大羽)

TEL: 03-3270-2384 FAX: 03-3242-0033

<調査の要領>

調査時点	2023年4月
調査方法	郵送による記名式アンケート調査
調査対象	270の金融機関(都市銀行5、地方銀行62、第二地方銀行37、信用金庫133、信用組合33) (信用金庫および信用組合については各々一定額以上の保証債務残高を有する金融機関)
回答数	253の金融機関(都市銀行5、地方銀行57、第二地方銀行31、信用金庫130、信用組合30)
回答率	93.7%

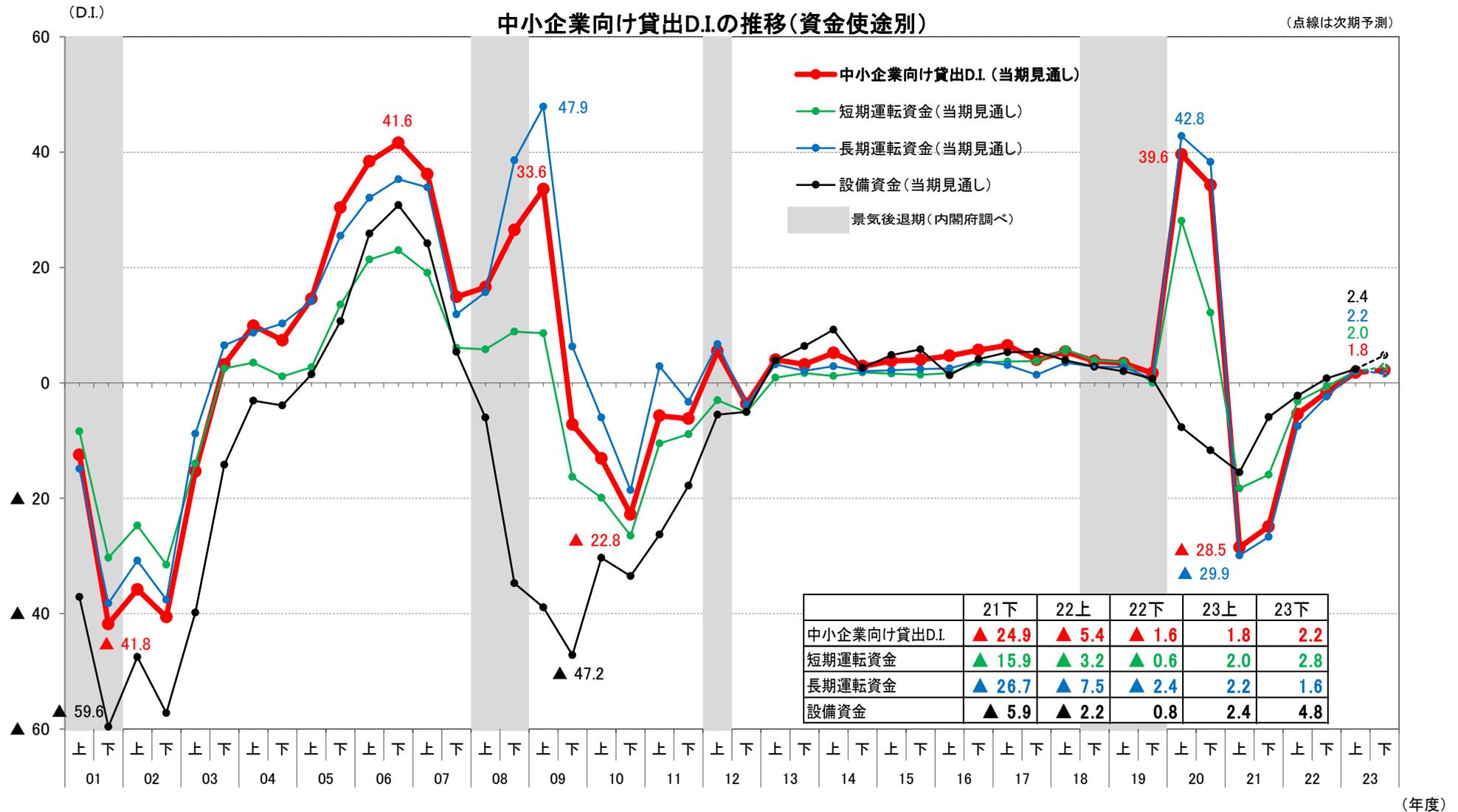
(注) $D.I. = (\text{「増加」と回答した金融機関の割合} + 0.5 \times \text{「やや増加」と回答した金融機関の割合}) - (\text{「減少」と回答した金融機関の割合} + 0.5 \times \text{「やや減少」と回答した金融機関の割合})$ 。
前年同期比での増減見通し。

(注) 各地域別の集計は、都市銀行の回答は含まず、以下の都道府県に本店を構える金融機関の回答を集計したもの。

- 東北・北海道【32/34】: 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 - 関東甲信越【85/87】: 新潟、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
 - 東海・北陸【47/50】: 静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井
 - 近畿【32/37】: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 - 中国【18/20】: 鳥取、島根、岡山、広島、山口
 - 四国【15/15】: 香川、徳島、高知、愛媛
 - 九州・沖縄【24/27】: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
- (注) 【 】内の数字は、回答金融機関数／調査対象機関数。

1. 中小企業向け貸出の動向について

- ・中小企業向け貸出D.I.は、やや上昇し、2020年度下期以来5期ぶりにプラスとなった。次期は横ばいの見込み。
- ・資金用途別にみると、全ての資金用途でやや上昇。

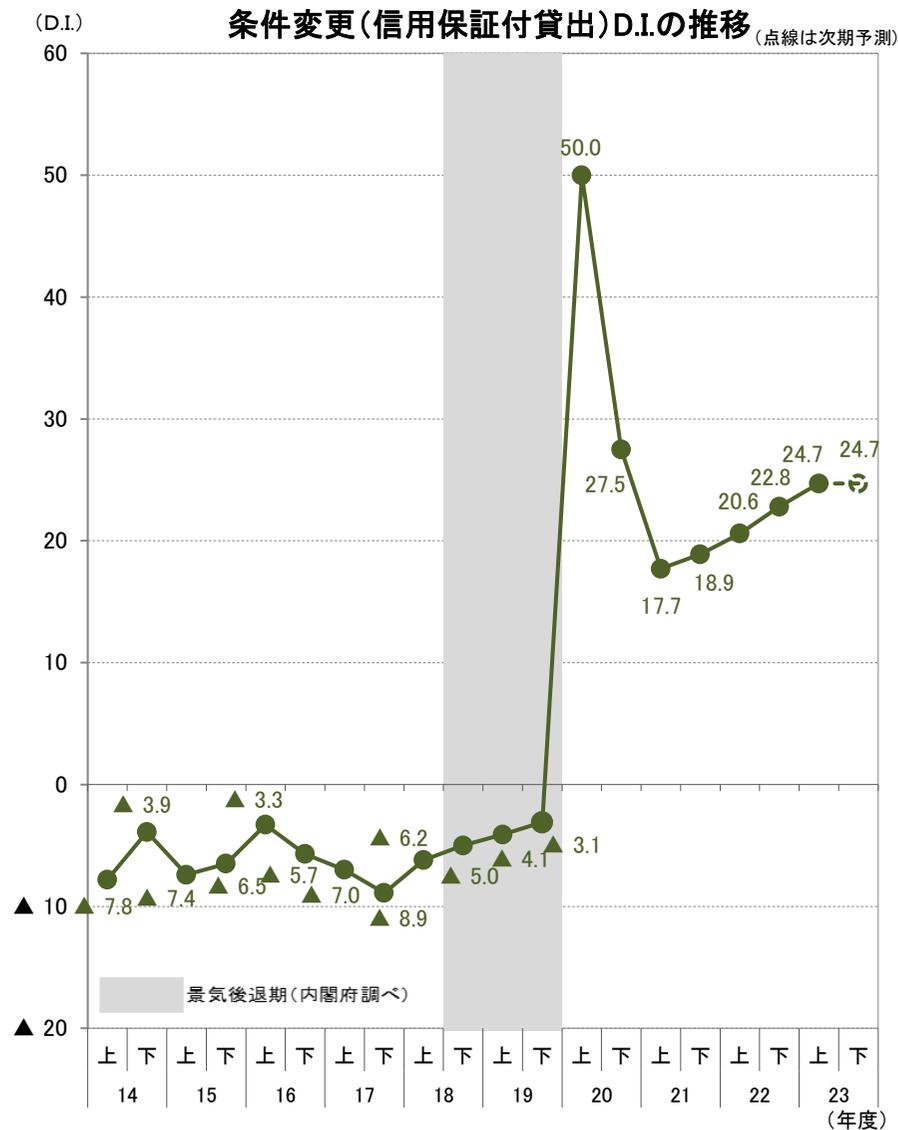
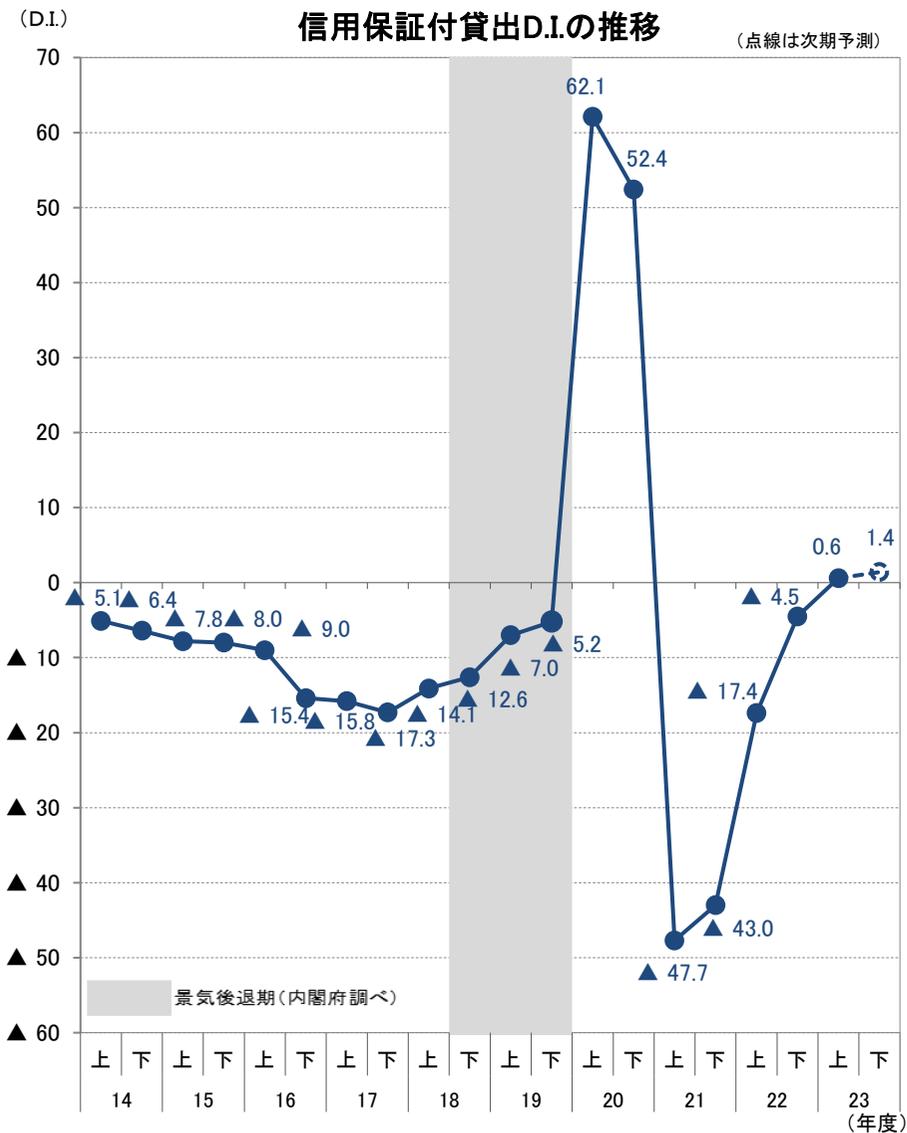


(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

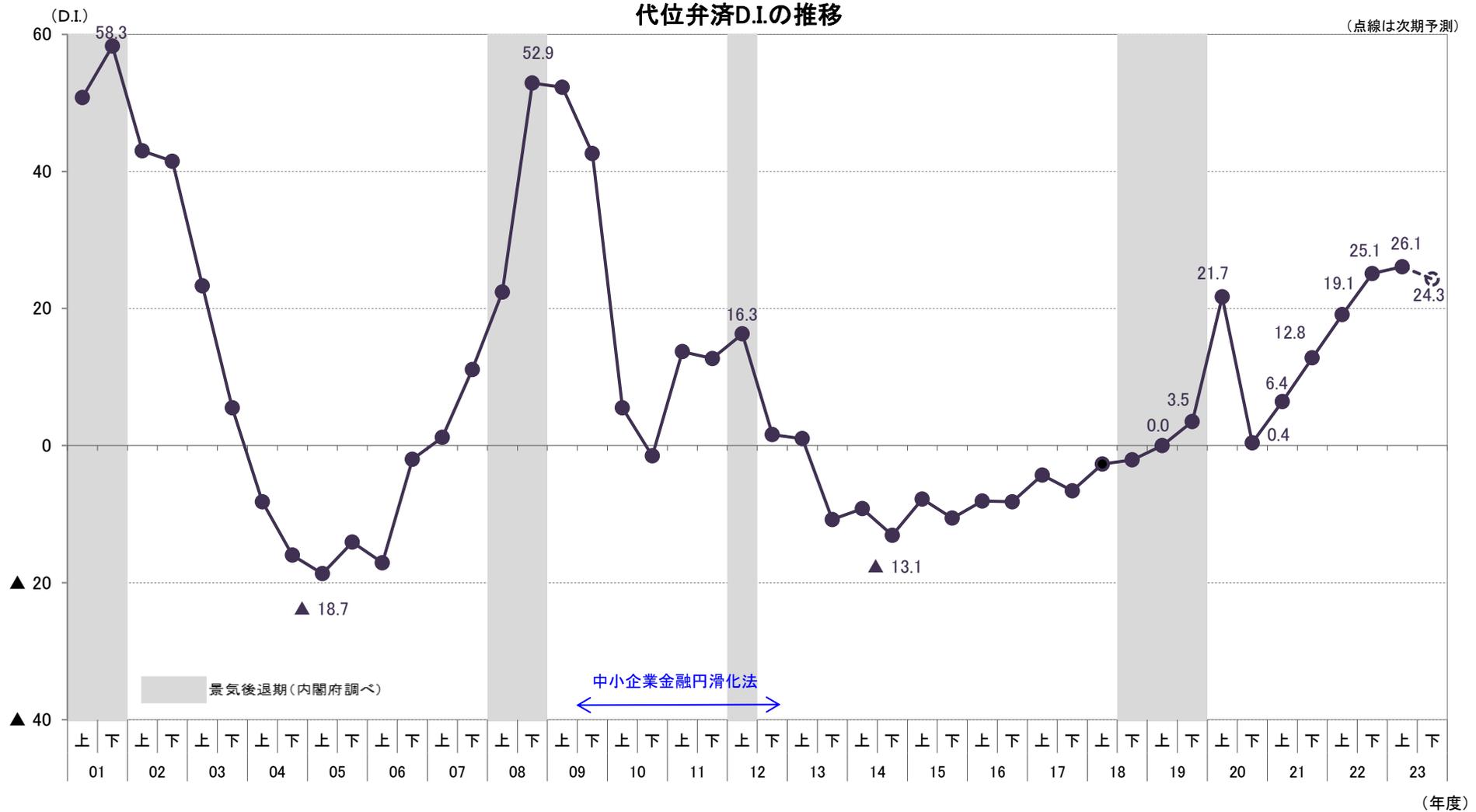
2. 信用保証付貸出の動向について

- ・信用保証付貸出D.I.は、上昇し、2020年度下期以来5期ぶりにプラスとなった。次期は横ばいの見込み。
- ・信用保証付貸出における条件変更D.I.は、やや上昇し、7期連続でプラスとなった。次期は横ばいの見込み。



3. 代位弁済の動向について

・代位弁済D.I.は、やや上昇し、8期連続でプラスとなった。次期はやや低下する見込み。



(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

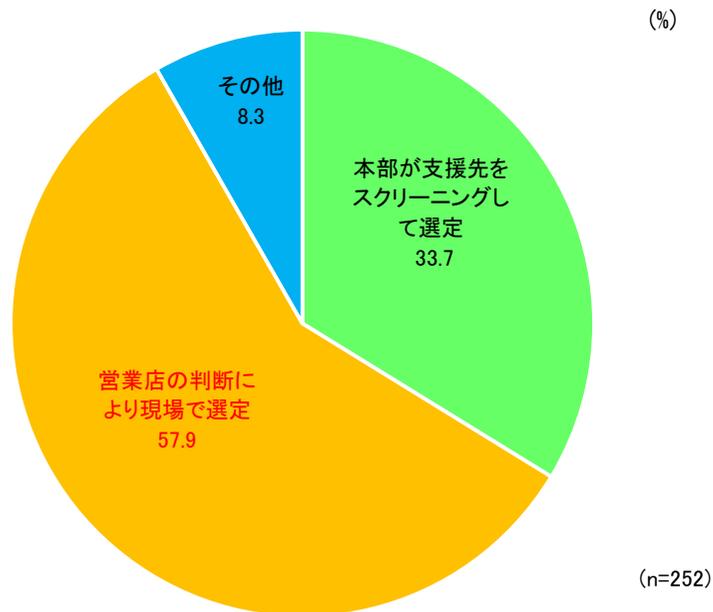
(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

1. 本業支援先^(※)を選定する際の本部または営業店が主導する比重と注力している本業支援先の属性について

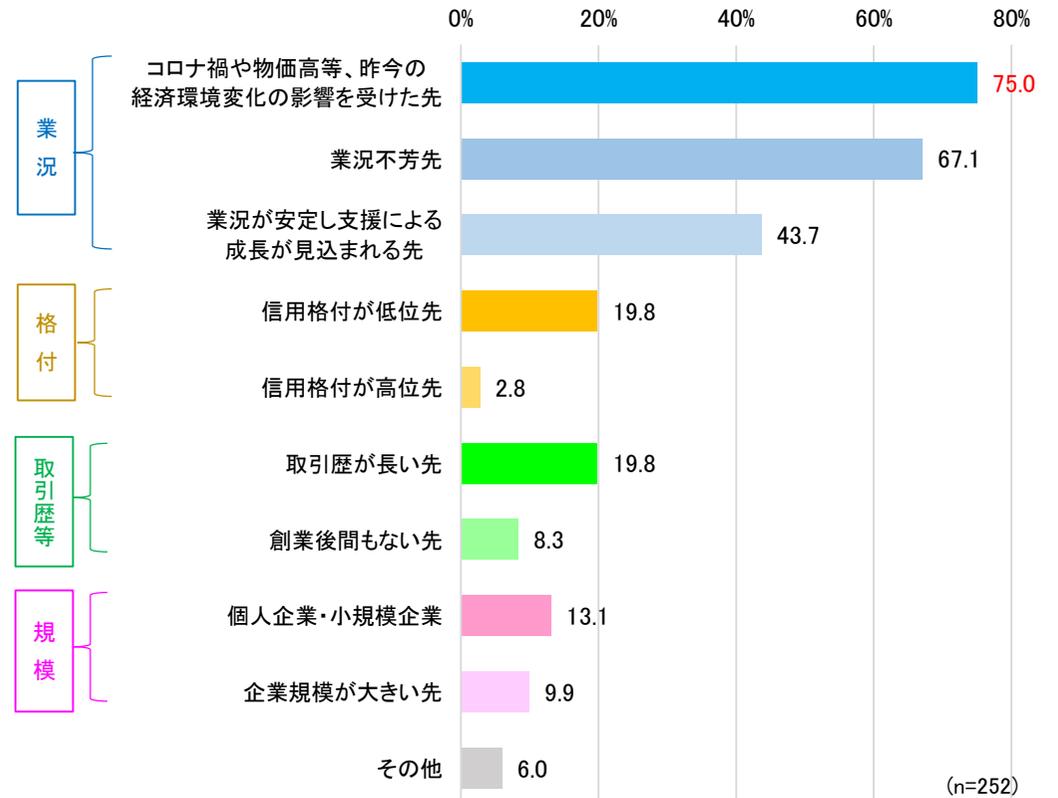
- ・本業支援先を選定する際は、「営業店の判断により現場で選定」している比重が「本部が支援先をスクリーニングして選定」する比重よりも高く、57.9%となっている。
- ・注力している本業支援先の属性については、「コロナ禍や物価高等、昨今の経済環境変化の影響を受けた先」が最多(75.0%)、次いで「業況不芳先」、「業況が安定し支援による成長が見込まれる先」の順となっている。

(※)企業価値の向上に資する非金融的な支援を行う先

(1) 本業支援先を選定する際の本部または営業店が主導する比重



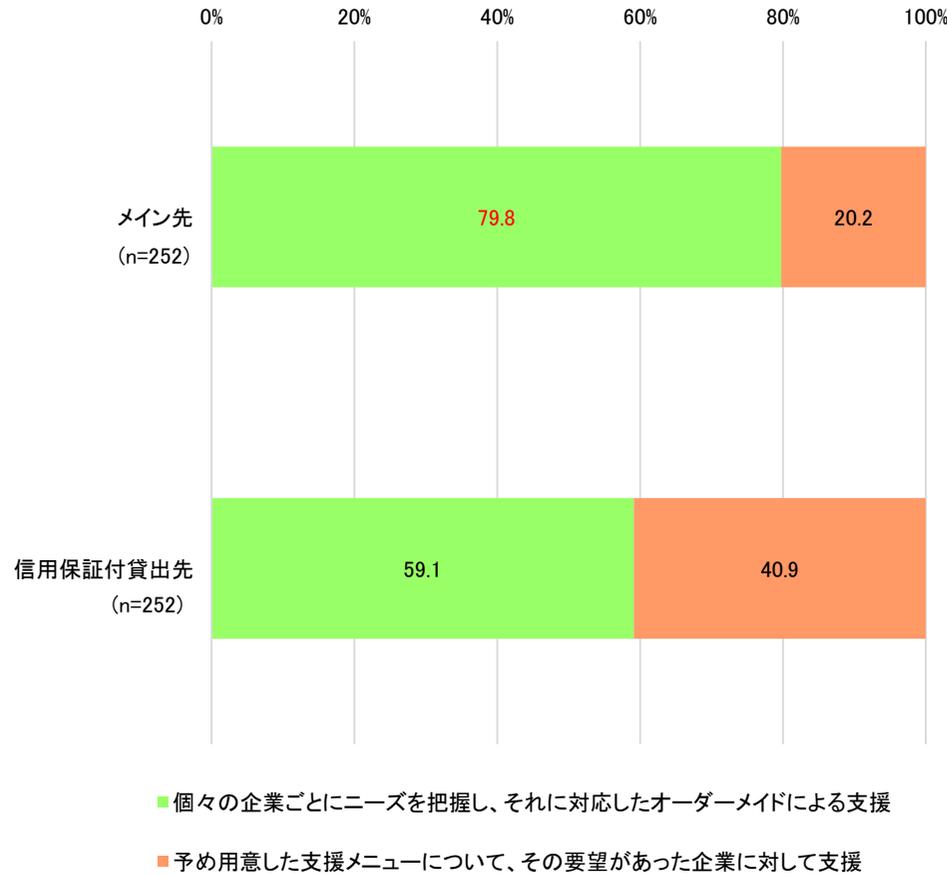
(2) 注力している本業支援先の属性



(注) (2)は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

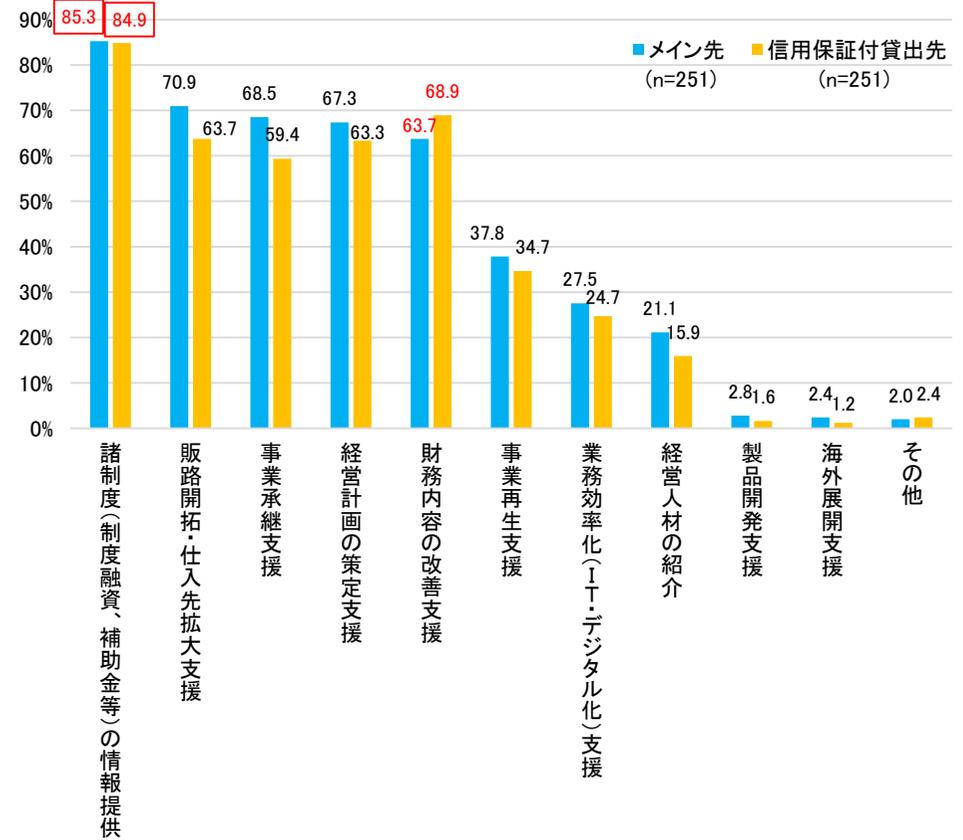
2. 本業支援を行う際の企業への支援プロセスについて(貸出先別)

・本業支援を行う際の企業への支援プロセスについては、メイン先、信用保証付貸出先のいずれも「個々の企業ごとにニーズを把握し、それに対応したオーダーメイドによる支援」が過半を占めており、中でもメイン先に対しては約8割となっている。



3. 注力している支援内容について(貸出先別)

・注力している支援内容については、メイン先、信用保証付貸出先のいずれも「諸制度(制度融資、補助金等)の情報提供」が最多(8割超)。支援内容別にみると、概ねメイン先への支援割合が信用保証付貸出先よりも高い傾向。ただし、「財務内容の改善支援」については、信用保証付貸出先の方が、割合が高くなっている(メイン先63.7%、信用保証付貸出先68.9%)。

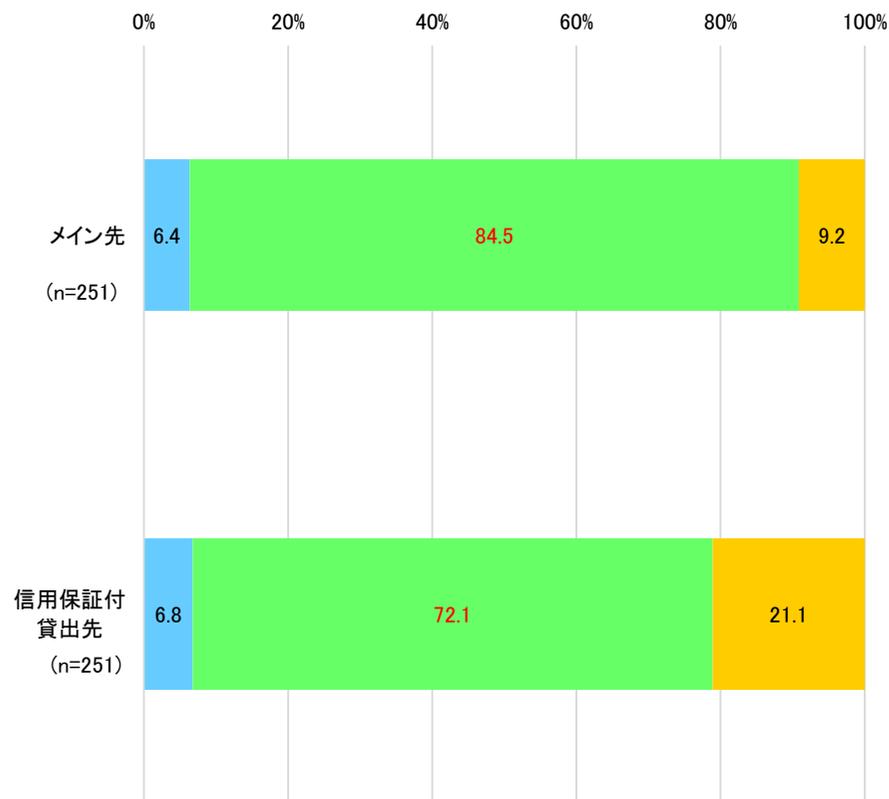


(注)3は複数回答(5つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

4. 本業支援を実施するにあたっての外部専門家の活用について

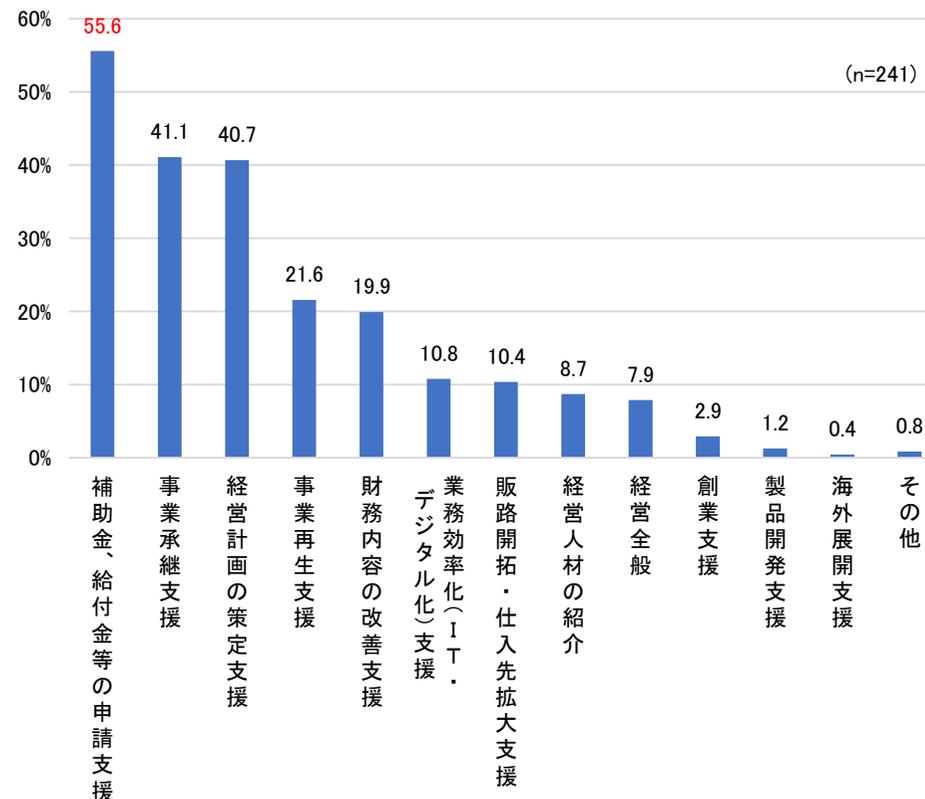
- ・外部専門家の活用方法については、メイン先、信用保証付貸出先のいずれも「外部専門家を活用しつつ、自らの支援を並行して行う先が多い」の割合が高い（84.5%、72.1%）が、信用保証付貸出先については、「外部専門家への取次ぎを行い、支援を委任する先が多い」も2割程度ある。
- ・外部専門家の活用分野については、「補助金、給付金等の申請支援」が最多（55.6%）、次いで「事業承継支援」、「経営計画の策定支援」の順となっている。

(1) 外部専門家の活用方法



- 自らできる限り支援を実施する先が多い(外部専門家はあまり活用していない)
- 外部専門家を活用しつつ、自らの支援を並行して行う先が多い
- 外部専門家への取次ぎを行い、支援を委任する先が多い

(2) 外部専門家の活用分野



(注1) (2)は複数回答のため、合計は100%を超える。

(注2) 次ページに具体的な事例を掲示

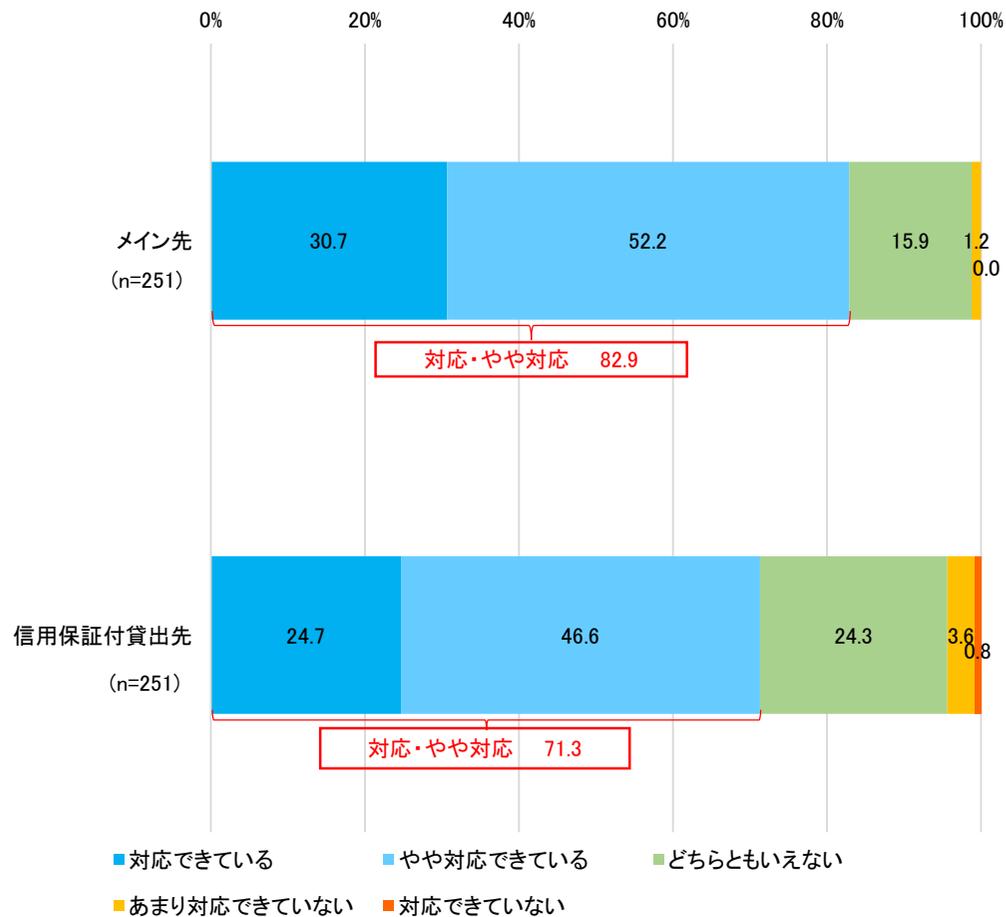
特別調査 金融機関による融資取引先への本業支援に関する取組みについて

【参考】外部専門家の活用理由・ケース等

活用分野	外部専門家を活用する理由・ケース等
補助金、給付金等の申請支援	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先のニーズが多いが、専門的なノウハウを要することも多く、採択率も重要であり外部専門家に取次ぎ対応してもらおうケースも多い ・種類が多く、そのうち特に採択の難易度の高い補助金を希望する取引先や、申請期限の迫っているケースでは当機関のみでは対応が難しく、行政書士等に対応してもらおう
事業承継支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利益相反について考慮する必要があるため ・事業承継の構成要素が多岐にわたり、支援する上で高度かつ専門的な知識が要求されるため、当機関職員だけで対応することが難しいことから、各専門家(士業、公的機関、M&A専門会社など)の役割に応じて支援を依頼するケースが多い
経営計画の策定支援	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識が必要となるため、当機関職員も同席しながら、当機関が提携している外部のコンサルティング会社に対応してもらおうケースが多い ・経営計画の策定のうち、とくに経営改善計画の策定については、経験豊富な専門家にアドバイスを受けることができ、費用も抑えることが可能なことから、信用保証協会の専門家派遣事業を活用する事が多い
事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生支援の公平性や透明性を担保するために中小企業活性化協議会等の外部専門家を活用するケースが多い ・経営改善取組中の先や業況悪化傾向の先に対し、各デューデリジェンスや改善計画策定等の専門的な知見を要する支援を実施する際に、無料もしくは国の補助金活用が可能な外部専門家を活用している
財務内容の改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・業積不振となっている先の中で、資金繰表が未作成の先や、試算表がタイムリーに提出されない先については、外部専門家を紹介する中、指導をすることが多い ・産業振興財団や保証協会の専門家派遣制度を利用し経営支援を行う場合など、幅広い知見を持つ中小企業診断士等に対応してもらおうケースが多い
業務効率化(IT・デジタル化)支援	<ul style="list-style-type: none"> ・原料、エネルギー価格の高止まりに起因する利益圧迫を業務効率化(IT化、デジタル化)にて改善していこうとする取引先のニーズに対しては、システム構築やIT設備投資が必要なケースが多く、外部専門家を活用することが多い ・取引先からの相談が多く、当機関だけでは対応が難しいことに加え、補助金によってはベンダーの協力が不可欠となることから、相談内容に応じて外部専門家に支援を要請している
販路開拓・仕入先拡大支援	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先同士のマッチングは当機関内で行なっているが、商談会等多くのリソースとノウハウを必要とするものは、効率と効果を重視し、外部専門家と連携している ・越境EC販売において外部ECサイトに専用コンテンツを作り、活用するケースがあり、活用実績が上がった

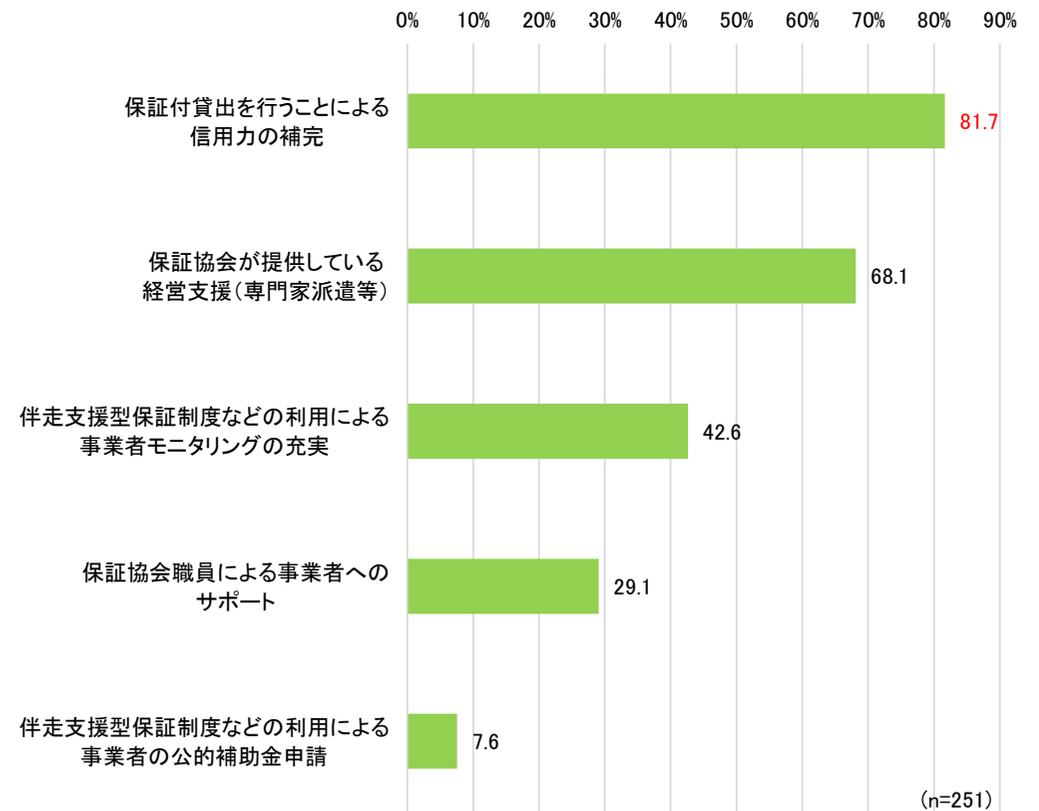
5. 本業支援先からのニーズへの対応状況について

・本業支援先からのニーズへの対応状況をメイン先と信用保証付貸出先で比べると、メイン先の方がニーズに対応できている割合が高い(82.9%)。



6. 本業支援先が信用保証制度を利用している場合、制度利用することでの信用保証協会へ期待する内容について

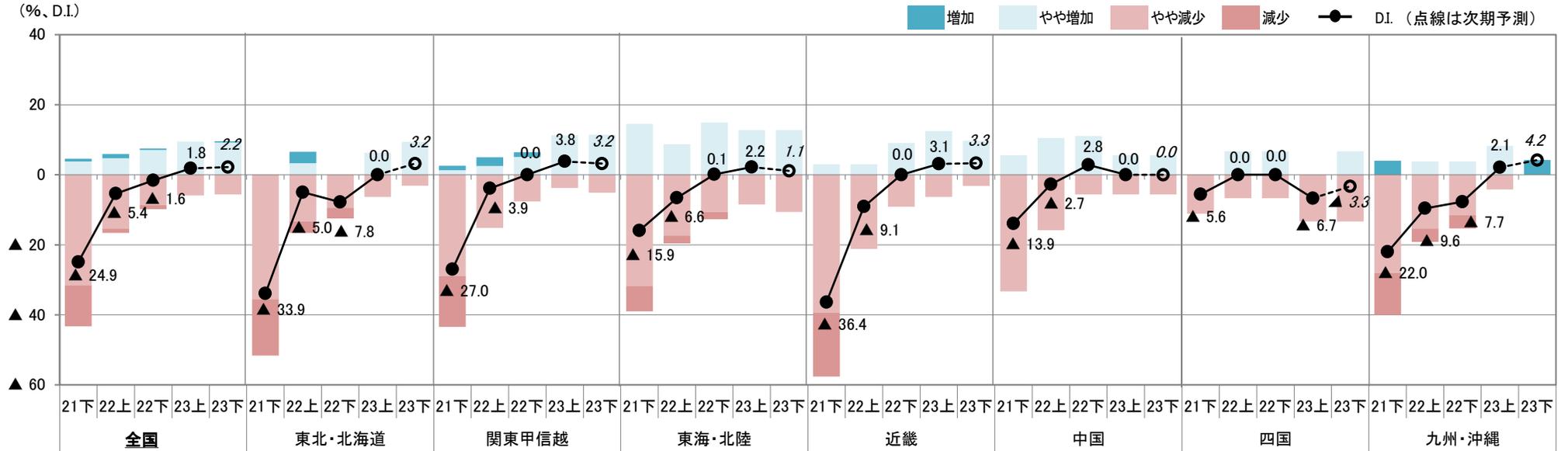
・本業支援先が信用保証制度を利用している場合、制度を利用することで信用保証協会へ期待する内容については、「保証付貸出を行うことによる信用力の補完」が最多(81.7%)、次いで「保証協会が提供している経営支援(専門家派遣等)」の順となっている。



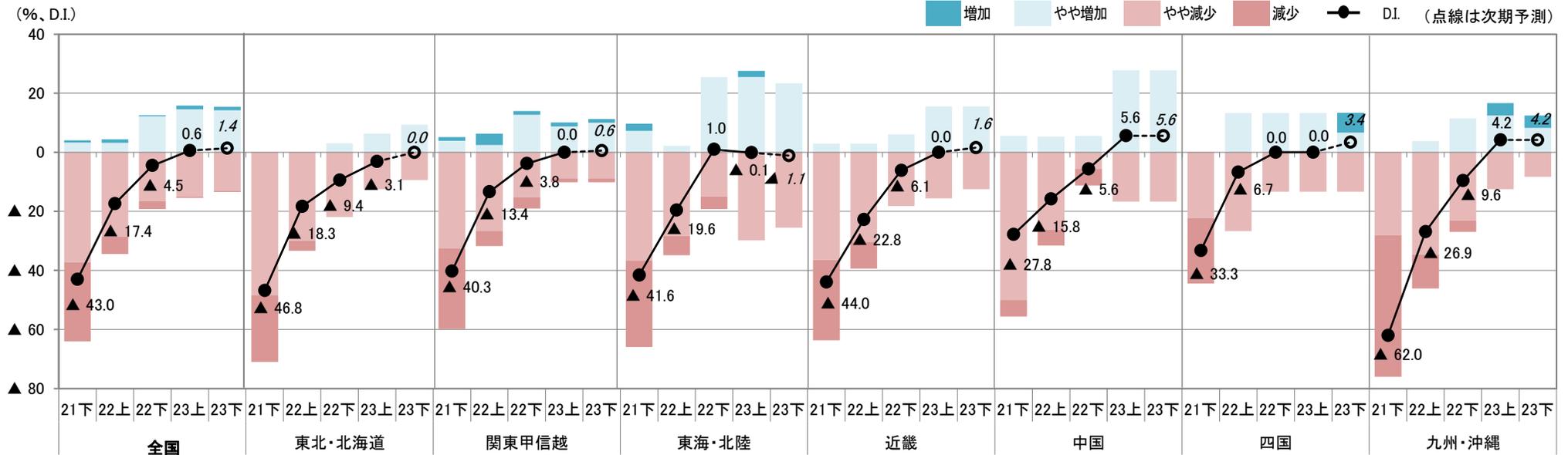
(注)6は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

参考編

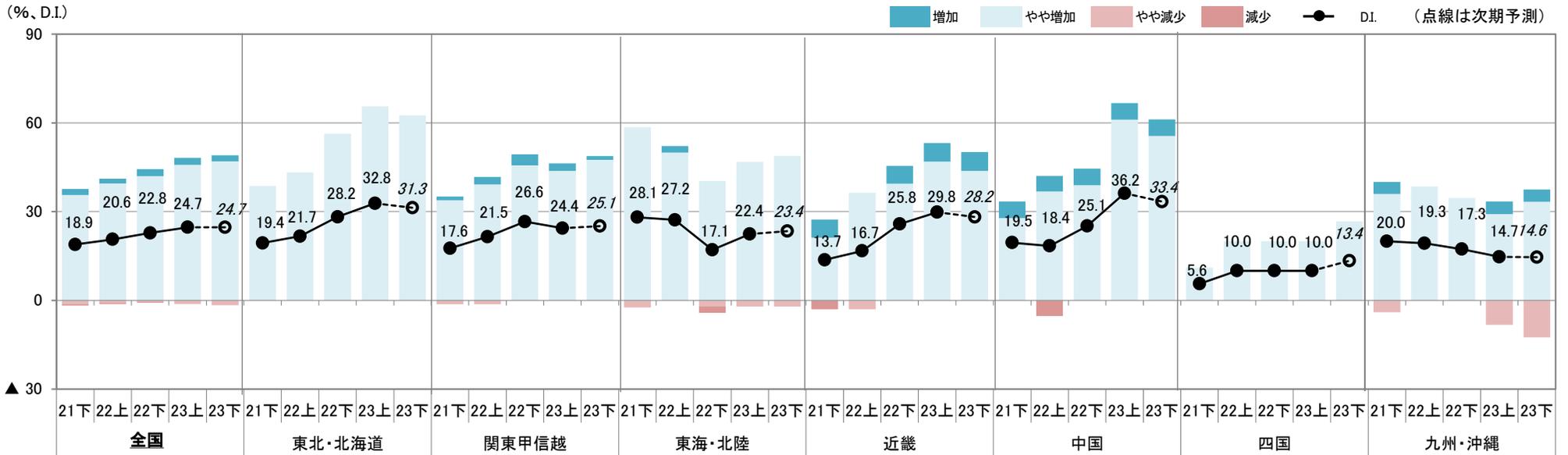
1. 中小企業向け貸出D.I.の推移【地域別】



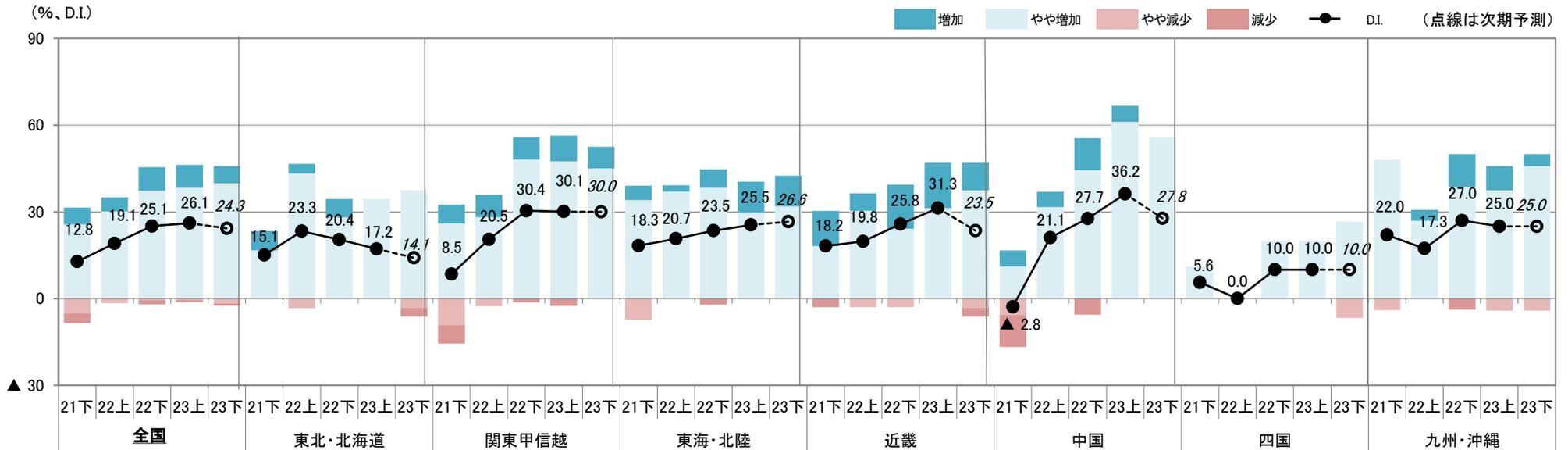
2. 信用保証付貸出D.I.の推移【地域別】



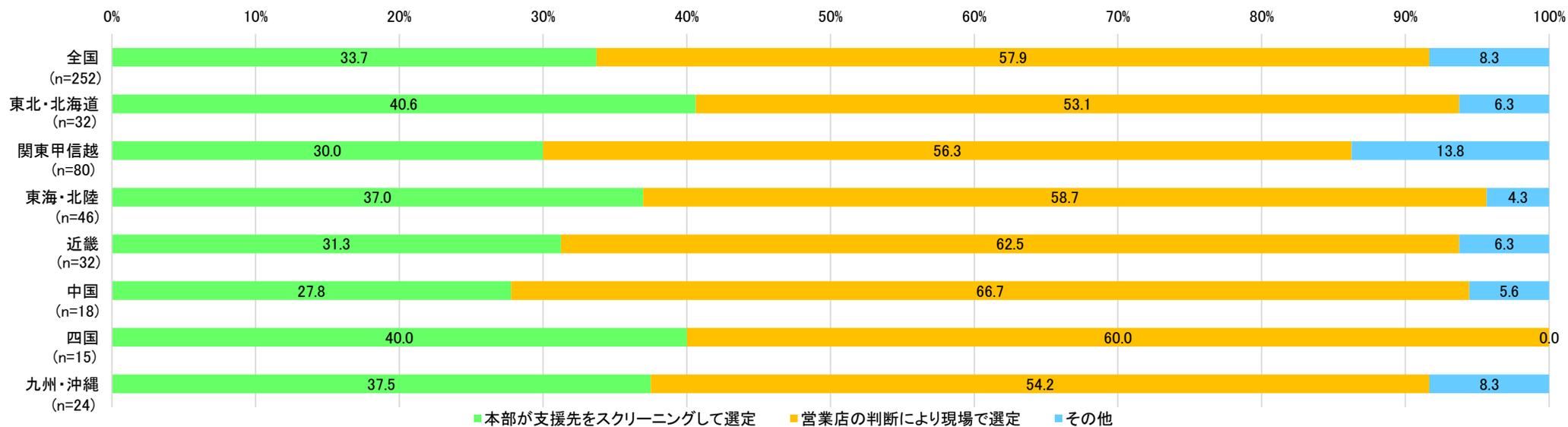
3. 条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移【地域別】



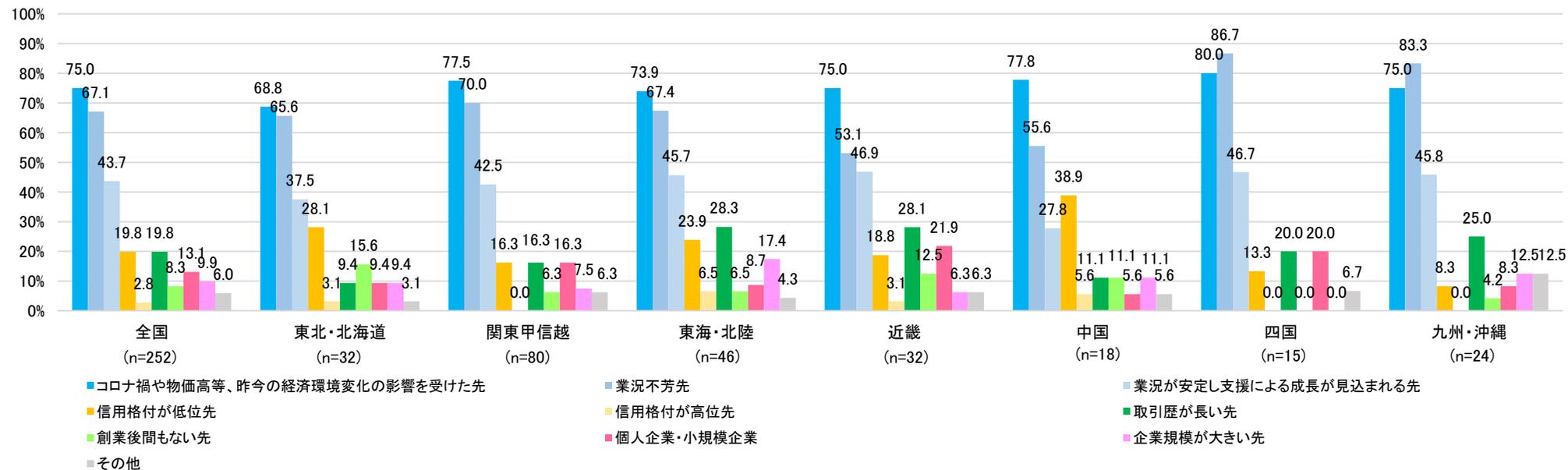
4. 代位弁済D.I.の推移【地域別】



1. (1) 本業支援先を選定する際の本部または営業店が主導する比重【地域別】



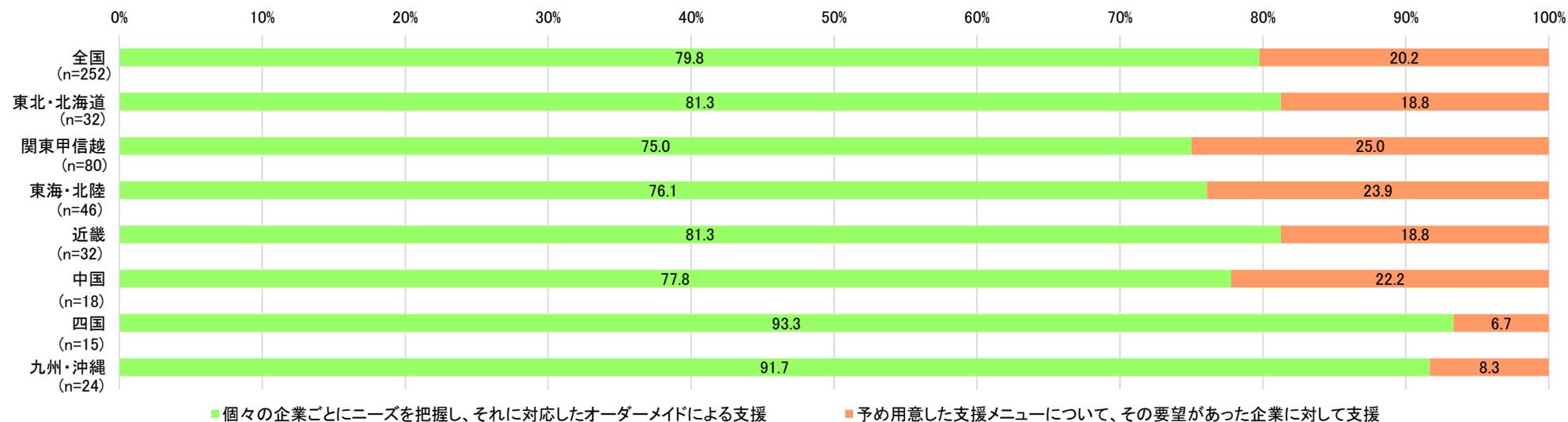
(2) 注力している本業支援先の属性【地域別】



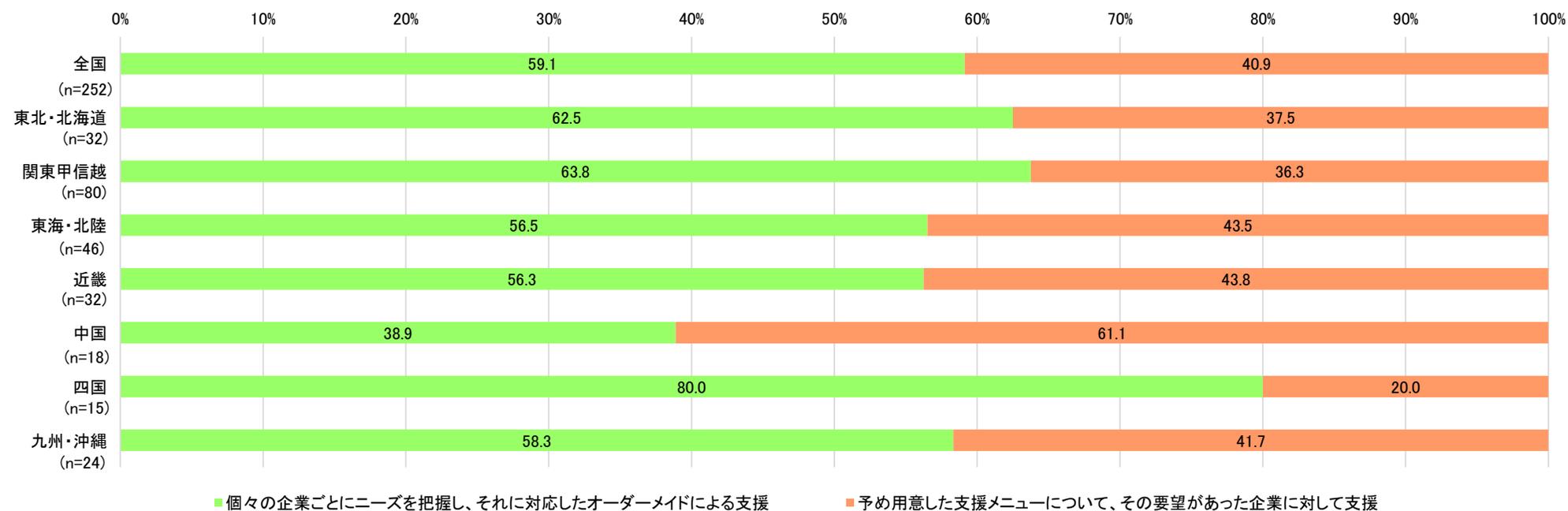
(注) (2)は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

2. 本業支援を行う際の企業への支援プロセスについて(貸出先別)【地域別】

(1)メイン先

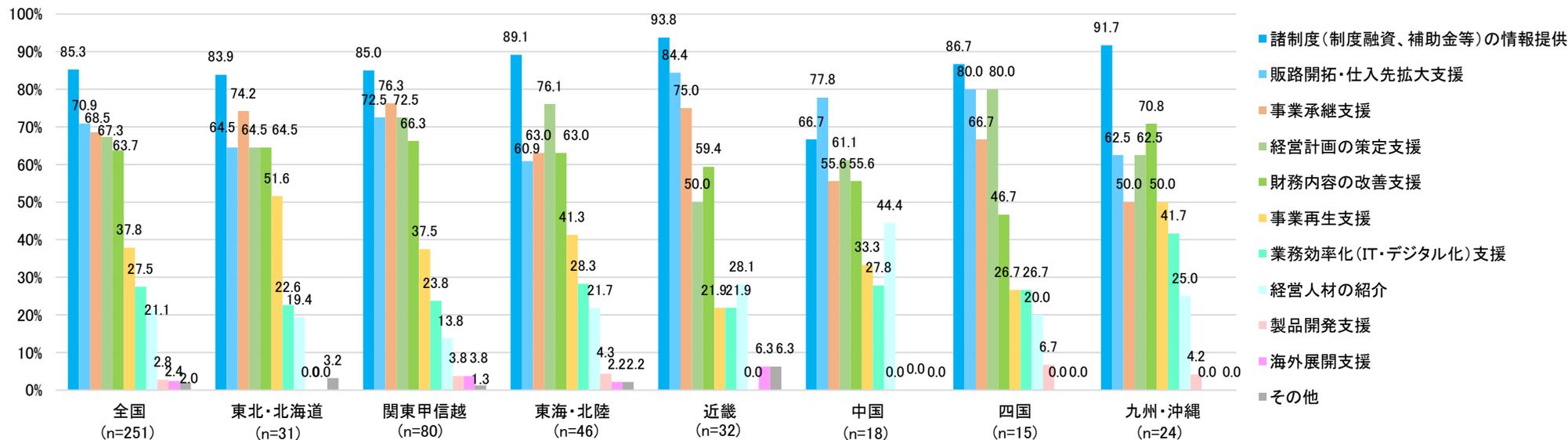


(2)信用保証付貸出先

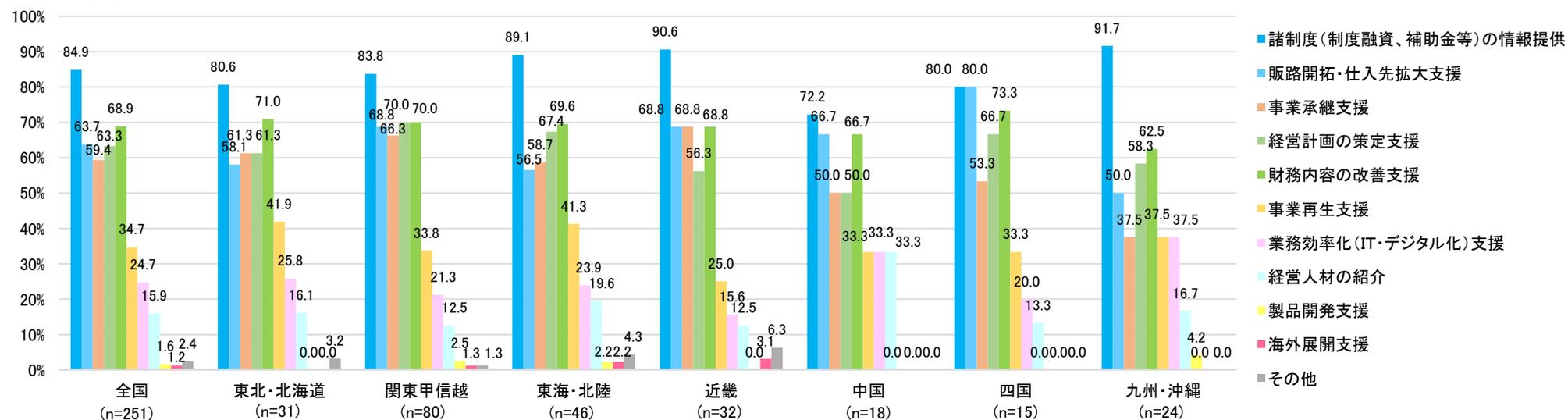


3. 注力している支援内容について(貸出先別)【地域別】

(1)メイン先



(2)信用保証付貸出先

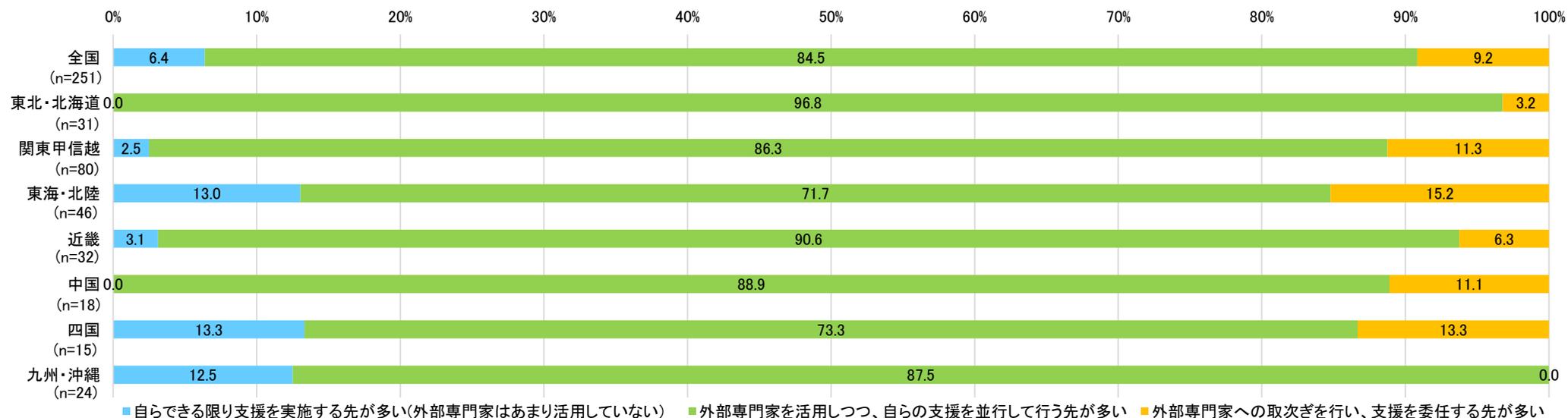


(注) (1) (2)は複数回答(5つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

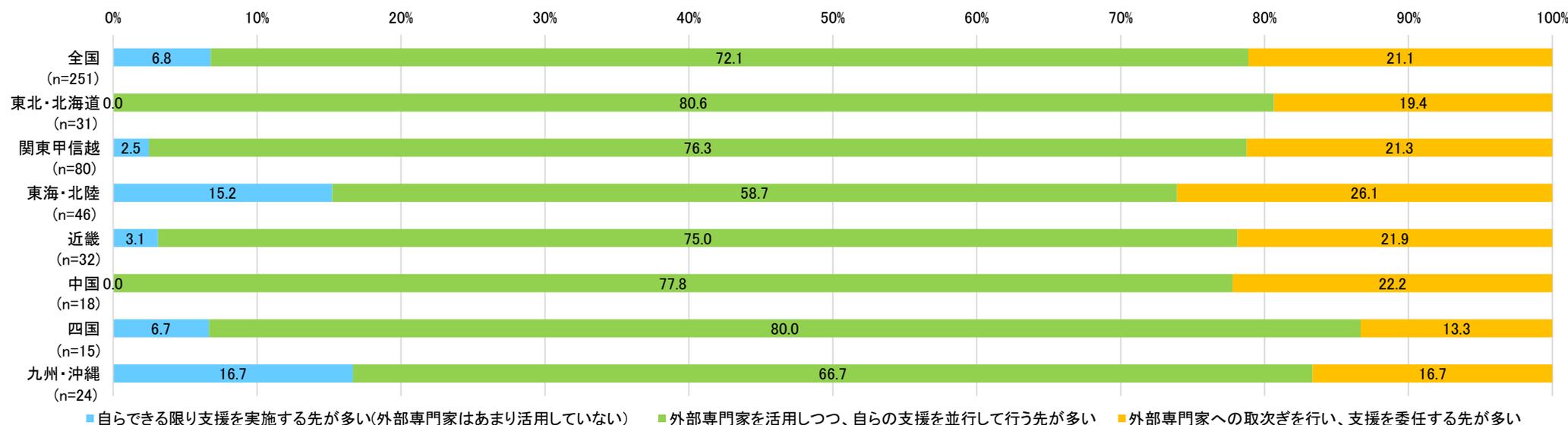
4. 本業支援を実施するにあたっての外部専門家の活用について【地域別】

(1) 外部専門家の活用方法

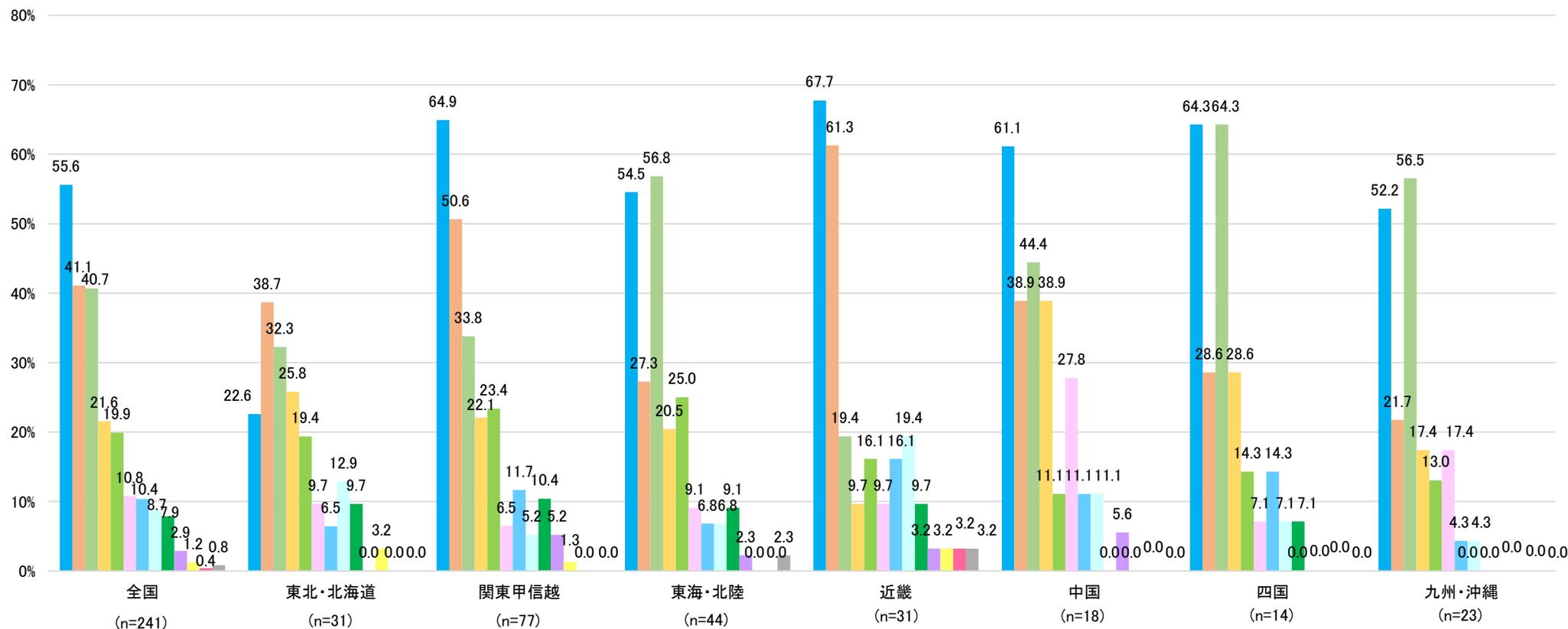
① メイン先



② 信用保証付貸出先



(2) 外部専門家の活用分野【地域別】

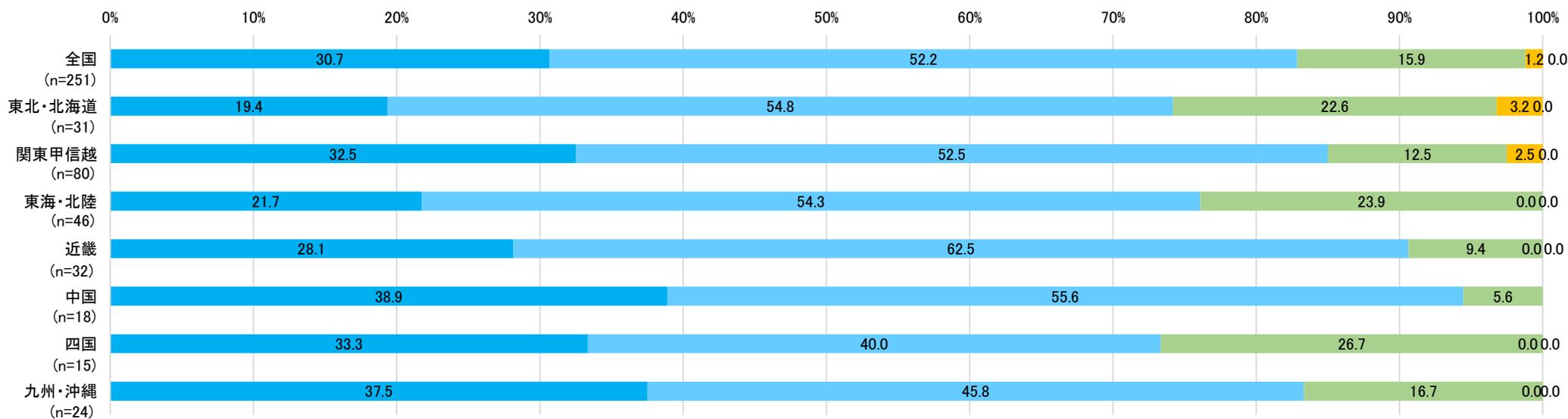


- 補助金、給付金等の申請支援
- 事業承継支援
- 経営計画の策定支援
- 事業再生支援
- 財務内容の改善支援
- 業務効率化(IT・デジタル化)支援
- 販路開拓・仕入先拡大支援
- 経営人材の紹介
- 経営全般
- 創業支援
- 製品開発支援
- 海外展開支援
- その他

(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。

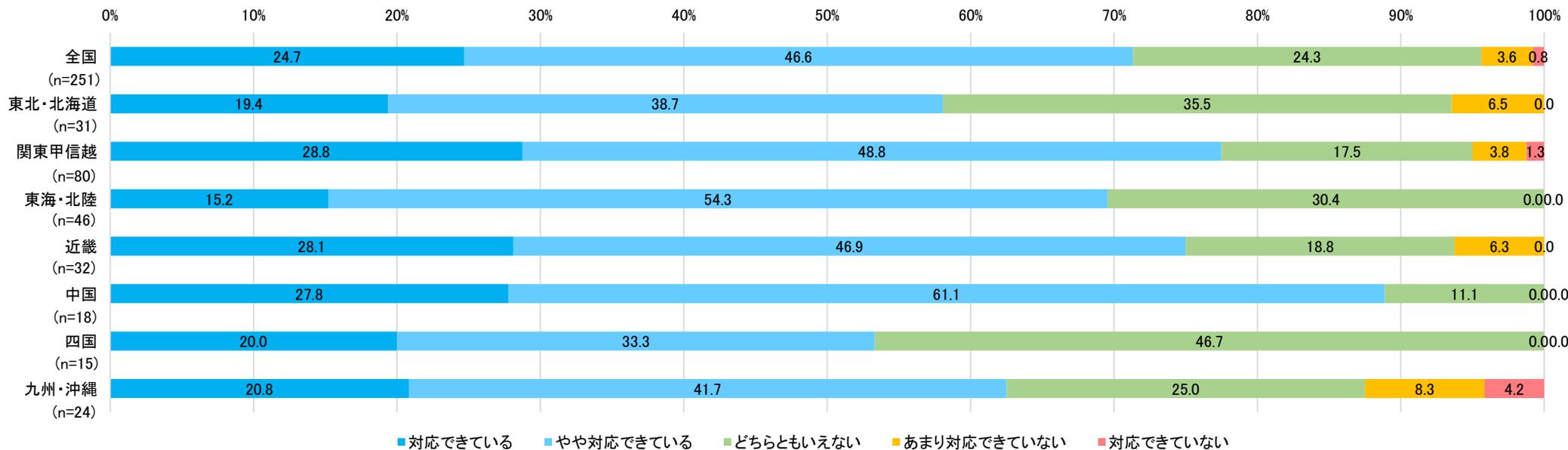
5. 本業支援先からのニーズへの対応状況について【地域別】

(1) メイン先

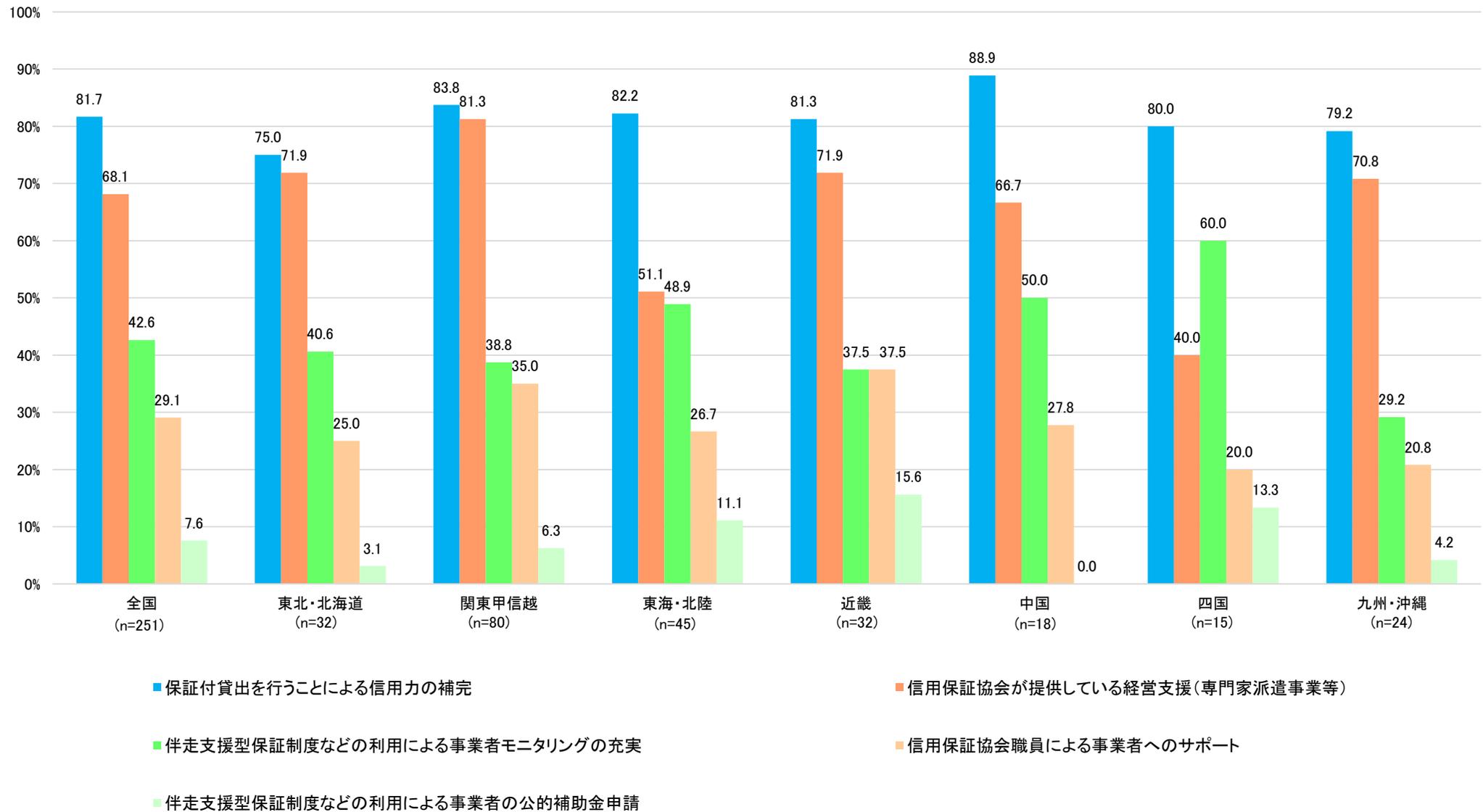


(2) 信用保証付貸出先

■ 対応できている ■ やや対応できている ■ どちらともいえない ■ あまり対応できていない ■ 対応できていない



6. 本業支援先が信用保証制度を利用している場合、制度利用することでの信用保証協会へ期待する内容について【地域別】



(注)複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。